学校だより

令和８年度　１月号
大阪市立聖和小学校
TEL 6779-5521

～冬休みは“インスタント・ラーメン作り”にチャレンジしました～

令和8年の新しい年が始まりました。本年も、子どもたちが自分の特性や強みを活かし、**お互いのちがいを認め合い、そのちがいが学級や学校の豊かさにつながるような学校づくり**をすすめてまいります。そして、子どもたちや保護者のみなさま、さらに社会全体が明るく、笑いややさしさに溢れる１年であることを願っています。

安藤百福氏とミュージアム

さて冬休み、私が代表を担います大阪府小学校社会科教育研究会の研修会で、大阪府池田市のカップヌードルミュージアムでラーメン作りにチャレンジしました。**館内では、まず、67年前に世界初のインスタントラーメン（チキンラーメン）を発明した安藤百福氏の業績を学び、当時の限られた道具を使い、アイディアを駆使し、寸暇を惜しんで試行錯誤を繰り返して開発に没頭した百福氏の生き方**にたいへんな感銘を受けました。

麺をよくほぐす

次に、**初のチキンラーメン作りにチャレンジ。**小麦粉をこねて、のばして、蒸したあとに味付けし、「瞬間油熱乾燥法」で乾燥するまでの工程を、楽しみながら体験しました。最新の調理道具でもなかなかの力やタイミングが必要で、ものづくりの難しさに触れ、発明王の百福氏の偉大さを改めて実感しました。後半は、**「マイカップヌードル作り」にも夢中**になり、世界に一つだけのオリジナルインスタントラーメンが誕生し、大切なお土産になりました。

できあがりました！

安藤百福氏は、社会の発展に尽くした先人として、小学校の社会科や道徳の教材にもなっています。**偉人の生き方を学ぶことで、子どもたちは地域に誇りをもったり、当時の社会の様子を調べるきっかけとなったり、人生の一つのモデルになったりと、学習への興味・関心を高めるきっかけとなります。**今後、偉人の功績を取り上げた取り組みも進めていきたいと考えています。(校長 左海克彦)

身支度は万全

安藤百福の研究小屋の様子（再現）

安藤百福氏の道徳教材（大阪府教育委員会より）

（文・資料作成ワーキング会議編　絵・小田啓介）

④ まほうのラーメン

土曜日の午後、四年生の純は、いとこの高志にいさんとラーメン屋さんにやってきました。お店の前には、たくさんの人が行列を作っています。純たちも列にならんでいました。いろいろ話しながら待っていると、高志にいさんが思い出したようにたずねます。

「純、野球はどうや。」

純はうつむいてしまいました。純は一年生から野球チームに入っているのですが、上手な子がたくさんいて、なかなか試合に出してもらうことができないのです。明日の練習もあまり気が進みません。

――もうやめてしまおうか。

そうなやんでいるところでした。

そんな純の思いを察してか、高志にいさんは言います。

「まあ、うまくいかへんこともあるよな。でも続けることがかん心やで。」

グー。純のおなかが鳴りました。

「それよかにいさん。ぼく、おなかすいた。こんなにならぶんやったら他の店行こう。」

「なんや、まだならび始めたばかりや。純はしんぼうが足りんな。」

笑いながら高志にいさんが言います。純はなんだかはらが立ちました。

「ちっとのがまんくらい……。ぼくだってできるわい。でも今はすぐに食べられる方がええんや。」

そう言うと、純はだまってしまいました。そんな純をちらっと見ると、高志にいさんはさらに言います。

「だったらインスタントラーメンにしとけばよかったなあ。お湯を注げば三分や。」

純はムスッとして何も答えませんでした。高志にいさんは純のかたに手を置いて言いました。

「知っとるか、純。インスタントラーメンはなあ、こんな行列から生まれたんやで。」

「えっ？」

純には意味が分かりませんでした。高志にいさんは話を続けます。

「昔、安藤百福さんって人がいてな。戦争が終わってすぐの冬、寒い日のことやった。まだ大阪の町は焼け野原で食べ物も十分に無いころでな。そんなとき、町に長い行列ができとったのに安藤さんは気づいた。その先に何があるのかと見てみると、それはラーメンの屋台やったんや。」

「そんな昔にもラーメン屋さんがあったんか。」

「そうやで。しばらくして、安藤さんは事業で大きな失敗をしてしまった。昭和三十年代の前半やったかな。これからのことになやんどったとき、頭にうかんだのは、あのときの屋台と行列やった。そしてラーメンをすすってる人たちの幸せそうな顔を思い出したんや。みんなが必死に食べ物を求めるすがたを、安藤さんはわすれられなかったんやなあ。」

そのことは、純にも何となく分かりました。

「みんなを幸せにできるラーメンを作ろう――。そう決めた安藤さんは家のうらの小屋で一人、研究を始めた。ところがや。安藤さんは、それまでめんもスープも作ったことがなかったんや。必死で勉強して、何度も作り直してな。『おいしいラーメン』を作るまでに一年くらいかかった。」

「やったこともなかったのに、ラーメン作ろうとするなんて無茶や。」

「そうかもな。けど安藤さんの研究はまだここからや。おいしいだけでなく、安くて、安全で、だれにでもかん単に作れて、長持ちするような『まほうのラーメン』……それが安藤さんの目標やった。

その『まほうのラーメン』が今のインスタントラーメンなんだと純は気づきました。

「ほしたり、いぶしたり、塩づけにしたり、とにかくアイデアは全部試した。でも来る日も来る日も失敗ばかりや。ほとんどねる時間もなかったらしい。きっと苦しかったやろな。」

――だったらやめてしまえばいいのに。

純は心の中で思いました。

「それでもな、純。安藤さんはずっと研究を続けたんや。そして、ついにお湯を注ぐだけでできあがるラーメンを完成させた。しかも、その後も改良を重ねて、容器に入って具までついた『カップめん』を作り上げた。」

スーパーにたくさんの種類のカップめんがならんでいるのを、純は見たことがあります。外国でもその国の味や具材にあわせたカップめんが作られていると聞いたこともありました。うどんや焼きそばだってインスタントのものがあります。

「安藤さんのおかげでいつでもどこでもおいしいラーメンが食べられるようになったなあ。それに、阪神・淡路大震災でも東日本大震災でも、カップめんは大活やくしたんやで。」

そう言うと、高志にいさんはにっこりと笑って、純の せ中をやさしくポンとたたきました。

――苦しいからって中でやめてしまったら……。

純は小さくつぶやきました。

「明日、練習に行こう。」

そう心に決めて、純は青い空を見上げました。

令和7年度

大阪市立聖和小学校
TEL. 6779-5521

1月の行事予定

〔委〕委員会活動 〔ク〕クラブ活動 C-NET(外国人英語指導員来校日)
SC(スクールカウンセラー来校日)

日	曜		終業予定時刻 5時間授業 14:30頃終業	6時間授業 15:20頃終業
1	木	冬季休業		
2	金			
3	土			
4	日			
5	月			
6	火			
7	水			
8	木			
9	金	始業式　給食開始	全学年	13:30下校
10	土			
11	日			
12	月	成人の日		
13	火	SC 発育測定6年　通学路巡視　C-NET	全学年	
14	水	発育測定5年	全学年	
15	木	発育測定4年	全学年	
16	金	発育測定3年　C-NET　避難訓練	全学年	
17	土	せいわっこ広場		
18	日			
19	月	発育測定2年 よも☆よも	1・2年	3-6年
20	火	発育測定1年1・2組　薬の正しい使い方講座(6校時)6年 C-NET	1年	2-6年
21	水	発育測定1年3・4組	全学年	
22	木	コクヨ出前授業4年(2～4校時) C-NET 〔委〕(集)給食委員会発表	1-4年	5・6年
23	金	ひまわり懇談会	1・2年	3-6年
24	土			
25	日			
26	月	手洗い週間(30日まで)	1・2年	3-6年
27	火	SC ピースおおさか6年 こども句会5年(2～4校時)	1年	2-6年
28	水	C-NET	全学年	
29	木	〔ク〕見学会3年	1・2年	3-6年
30	金	C-NET	1・2年	3-6年
31	土			

1月22日(木)、文房具屋や事務用品のコクヨによる4年生の「つなげるーぱ！」の出前授業があります。「つなげるーぱ！」は、PTAさんの提案により、環境委員会の児童が主になって活動している、使い終わったノートを回収する取組です。

使い終わったノートはリサイクルされ、新しいノートへ再生されるそうです。お家でもし使い終わったノートがあれば、コクヨのものではなくてもいいので、子どもに持たせてください。職員室前に専用ポストがあります。

(教務主任　湊　友香)

備考

2月6日(金)3年3組 4年1組 5年1,3組 6年2,3組のみ、15:00頃下校
その他の学級は給食終了後 13:00頃下校
2月13日(金)3年3組 4年1組 5年1,3組 6年2,3組のみ、5時間授業
その他の学級は普段通りの下校時刻
2月25日(水)～27日(金)作品展
2月27日(金)学習参観(5時間目)・学級懇談会

令和7年度
第116回卒業式は、
令和8年3月18日(水)です。